

バイオリン 至福の音色

岐阜市でぎふしん慈善公演

岐阜信用金庫主催の「ぎふしんプレミアムチャリティーコンサート2025」が8日、岐阜市薮田南のサラマンカホールで開かれ、

国内外で活躍するバイオリニスト古澤巖さんが名器「ストラディバリウス」で至福の音色を届けた。

古澤さんは、演奏家を支援する「宗次コレクション」から、ストラディバリウス

の中でも貴重とされる1718年製の「サン・ロレンツォ」の生涯貸与を受けている。作家直筆の文字が記され、フランス王妃マリー・アントワネットの専属バイオリニストが所有していたという。

ピアニスト金森研二さんと共演し、パガニーニのラ・カンパネラやモーツァルトのバイオリン協奏曲第3番などアンコールを含め10



美しい音色を響かせる古澤巖さん(左)
＝岐阜市薮田南、サラマンカホール

曲ほどを披露。美しい音色で聴衆を魅了した。

コンサートは、地域の音楽文化の発展や顧客への恩返しを目的に開き、31回目。昼と夜の2公演を計1400人が楽しんだ。会場には募金箱を置き、集まった善意は、地域振興や福祉活動のため岐阜信用金庫の営業区域内にある自治体などに全額を寄付する。

(玉田健太)